

司書のイチオシ

科学の本を、読んでみる

「科学」って難しそう？自分には関係ない？いえいえ、科学は誰でも楽しめます！
京都市図書館の司書が、不思議なことへの好奇心、新たな発見へのわくわくを胸に、
全42冊をご紹介します。

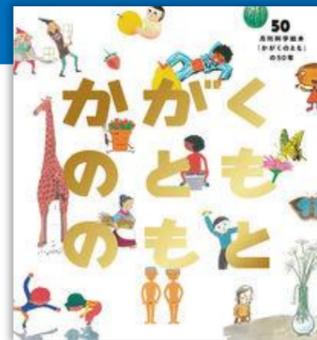
実は身近にある科学の面白さを、読書で体験しませんか。

※「司書のイチオシ」は読書週間の特別企画として、毎年開催しています。
これまでに紹介した本は、京都市図書館ホームページでご覧いただけます。

京都市図書館 司書のイチオシ 
(令和4年10月作成)



かがくのとものもと 1



月刊科学絵本「かがくのとも」の50年 懐かしい！たのしい“かがく” (分類) 019.53

月刊科学絵本『かがくのとも』は、多くの人が子どもの頃に一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。「科学」の本として、または「科学」の本だなんて思わずに。創刊 50 周年を迎え、増刊号を含めた 601 作品の表紙とあらすじ、制作過程、作家の語る科学絵本観などが紹介されています。懐かしい表紙を見れば、難しく考えてしまう「科学」は、とても身近で楽しく面白いものであったことを思い出させてくれます。

福音館書店 2019

(移動図書館司書)

人を動かす「色」の科学 4



1杯のコーヒーから始まる身近で不思議な世界 「色」って不思議 141.21

私たちの暮らしには、さまざまな「色」が存在します。では「色」ってなんだろうと考えてみると、正体が分かりません。このような不思議な「色」について、虹の色はなぜ7色になったのか、みかんやオクラをなぜネットに入れるのかなど、たくさんの具体例を紹介している本です。この本を読むことで、これから不思議な色を発見した時になぜなのか考えるのが楽しくなるかもしれません。

松本 英恵／著
SB クリエイティブ 2019

(北図書館司書)

「かわいい」のちから 2



「かわいい」の実験で探るその心理 「かわいい」とまじめに向き合う 140.75

「かわいい」が秘めた力に、真面目で堅実な「科学」の力で迫るのがこの本。使われるのは主に実験心理学の手法です。「かわいい」の理解を深めるだけでなく、言葉の定義に始まり、平易かつ丁寧な説明で「設定したテーマに科学的に向き合うとは何か？」を学べます。「科学の本」と聞くと化学や生物学の本を思い浮かべる方が多いかと思いますが、地道な実験を積み重ねて心の不思議を考える、実験心理学の本もいかがですか？

入戸野 宏／著
化学同人 2019

(醍醐中央図書館司書)

たけしの面白科学者図鑑 [2] 5



地球も宇宙も謎だらけ！ 謎を解く旅は果てしない 402.106

ビートたけしさんが地球や宇宙の謎を追う 10 人の研究者にインタビューした対談集。銀河系も超えた宇宙全体の壮大な話から深海や南極まで生命の起源を探るため調査研究に行く話など、非日常が味わえるとともに、勉強にもなります。研究者が現地のロシア研究者と仲良くなるために、ウォッカをたくさん飲むはめになるなど、苦労してきた具体的なエピソードも面白い本。この地球&宇宙編の他に、生物編と人間編もあります。

ビートたけし／著
新潮社 2017

(吉祥院図書館司書)

手術をする外科医はなぜ白衣を着ないのか？ 3



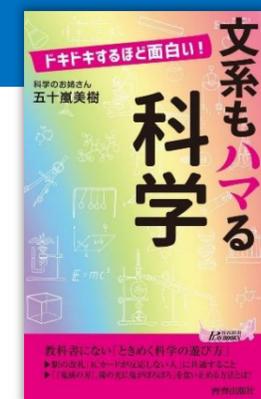
あなたが知っている「色」、実は… 141.21

シロクマは本当は白くなかった？手術をする外科医が白衣を着ないのには理由がある？…などなど、日頃私たちが何気なく見ている「色」には、実は不思議なことがたくさんあります。この本では、そんな面白い色の不思議を「色彩工学」という分野からわかりやすく解説しています。読めば、ビックリ！とナルホド！の連続。きっと誰かに話したくなる、奥深い色の科学の世界にぜひ触れてみてください。

入倉 隆／著
日経 BP 日本経済新聞出版
2022

(下京図書館司書)

文系もハマる科学 6



ドキドキするほど面白い！ 文系ですが、本当にハマりました 404

90°Cのサウナで火傷しないのはどうして？元恋人にもらった指輪を実験で溶かして未練にもサヨナラ!?某漫画にも出てきた血を一瞬で拭き取るトリックの正体も科学？など。

なぜ？と疑問を持ち、もしも…と進んで行く科学の世界はまるでワクワクする冒険！“科学”と聞くと頭が拒否する文系人間の私も一気読み。周りの物事がすべて科学に結びついてしまう著者の思考と発想力、実験ごとの笑えるコメントにもハマる 1 冊です。

五十嵐 美樹／著
青春出版社 2022

(移動図書館司書)



大人もおどろく「夏休み子ども科学電話相談」

7

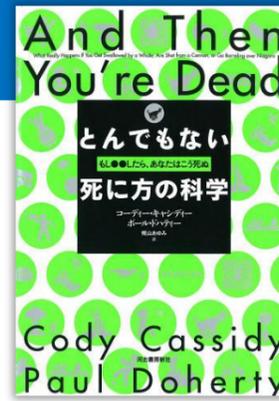
なぜ？がわかると楽しい！

404

すいかはなぜ野菜なの？バラにトゲがある理由は？鏡に映ると反対になるのはなぜ？子どもたちから寄せられた、身近な疑問や難問を専門家の先生が答えます。なぜ疑問に思ったのか、自分ならどう思うかなどを、問いかけながら会話形式でわかりやすくまとめられています。子どもたちの着眼点が素晴らしく、先生方の答えも秀逸なので、なるほど!!が止まらない、とても楽しい1冊です。

NHK ラジオセンター「夏休み子ども科学電話相談」制作班／編著
SB クリエイティブ 2017

(中央図書館司書)



とんでもない死に方の科学 もし●●したら、あなたはこう死ぬ

10

木星で死んだらこうなった

404

ブラックホールに身を投げたら？クジラに飲み込まれたら？タイムトラベルをしたら？落ちるエレベーターの中でジャンプをしたら生き残れる？ありえない、とんでもない窮地において、まずあなたの身に何が起きるのか。こういった経緯をたどって死に至るかを、気の利いた皮肉とユーモアを交えて丁寧に教えてくれる死に方の科学。

コーディー・キャシディー／著
ポール・ドハティー／著
梶山 あゆみ／訳
河出書房新社 2018

(コミュニティプラザ深草図書館司書)



科学の宝箱 人に話したくなる 25 のとっておきの豆知識

8

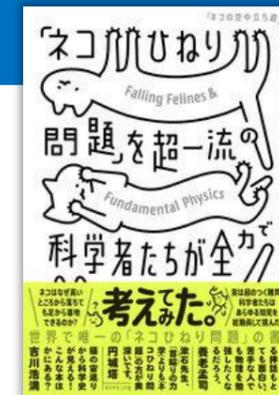
ねえねえ、知ってる？

404

なぜ右利きが多いのだろうと考えたことはありますか。実は約 180 万年前は右利きも左利きも同じくらいだったのが、人類の進化の過程で言語が発展し、左脳が発達したことで右利きが多くなったそうです。生活する中で「なんでだろう？」と思ったことはありませんか。この本はそんな疑問を解決してくれるかもしれません。読み終わった後は少し賢くなった気持ちになれます。

TBS ラジオ／編
新潮社 2013

(山科図書館司書)



「ネコひねり問題」を超一流の科学者たちが全力で考えてみた

11

疑問→ねこ→ひらめきのループ！

404

なぜ猫は高いところから落ちて足から着地できるのか？何百年も謎に包まれてきたこの問題に、写真術・神経科学・ロボットによる再現など、様々なアプローチで挑んでいます。一流の科学者たちが猫に翻弄されてきた歴史がわかり、物理がもっと身近に感じられるはず！科学者たちの知的好奇心と、著者による猫への愛を堪能できる1冊です。

グレゴリー・J.グバー／著
水谷 淳／訳
ダイヤモンド社 2022

(伏見中央図書館司書)



サイエンス・ウォーズ

9

科学をめぐる戦争、勃発！

404

1990 年代に勃発した「矜持と揶揄、欺瞞と愚弄」に満ちた科学をめぐる論争「サイエンス・ウォーズ」。科学(者)に潜む「無邪気な傲慢さ」を暴いた現代科学論に対する科学者たちの宣戦布告で幕を開けた戦争は、物理学者ソーカルのパロディ論文騒動で主要メディアを巻き込む「事件」となる。科学の権威と信頼性を揺るがした「あの戦争」は、私たちが科学を語るうえでどんな教訓を遺したのだろうか？科学観の再考を促す1冊。

金森 修／著
東京大学出版会 2000

(久世ふれあいセンター図書館司書)



世界でいちばん素敵な科学の教室

12

写真集のような科学の本

404

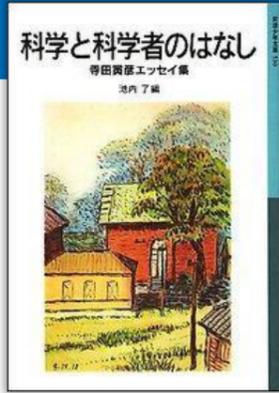
「世界でいちばん素敵な教室」シリーズの1冊。歴史的な発見や発明をたどりつつ、身の回りの不思議なことや宇宙空間で起こる現象など幅広く取り上げています。美しい写真とわかりやすい解説がコンセプトで、科学の本と気負わず読み進められます。何気なく目にしている現象も科学の知識があれば少し見方が変わるかもしれません。

的川 泰宣／監修
遠藤 芳文／企画 文
三オブックス 2019

(コミュニティプラザ深草図書館司書)

科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集

13



寺田 寅彦／著
池内 了／編
岩波書店 2000

日常体験から科学を見つける

404

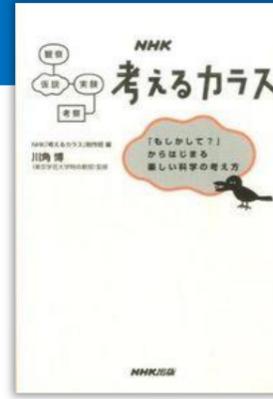
明治時代の物理学者であり、夏目漱石の弟子でもある寺田寅彦のエッセイ集。例えば、線香花火の燃え方、金平糖の角の生成の仕方、電車の混雑について…など、私たちの身近な日常の現象から科学の法則性があるかを考えます。寺田寅彦は五感で感じたことや不思議に思うことを大切に、静かに観察して理解しようとしてきました。著者のような好奇心にあふれたまなざしでもう一度自分の世界を見渡したい気持ちになります。

(山科図書館司書)

NHK 考えるカラス

「もしかして？」からはじまる楽しい科学の考え方

16



NHK「考えるカラス」制作班／編
川角 博／監修
NHK 出版 2014

もやもやを楽しむ

407

「長短 2 本のロウソクに火をつけてピンをかぶせると、どちらが先に消える？」などの実験が少し意外な結果になります。自分が思っていたものと違う結果になって、もやもやしてしまいます。さあ答えはなんだろうとページをめくると問題の答えは書かれていないのです。あるのは小学生から大学生、20 代から 50 代までのみんなの“考え”。それもバリエーション豊かでおもしろい。もやもやを楽しみながら考えることのできる 1 冊です。

(西京図書館司書)

科学ってなあに？ 身近にあふれる“なぜ？”が“そうか！”に

14



ジェームズ・ドイル／著
桑原 洋子／訳
クレア・ゴープル／イラスト
河出書房新社 2019

身の周りにあるもの全てが科学！

404

「科学」と聞くと難しいイメージをもってしまいますが、実はそうではありません。長い長い歴史の中で、起きたこと全部が「科学」です。日常の中で感じる疑問を「科学」が解決してくれます。血管の長さは何のくらい？星はどうやって生まれるの？さらには自分が思いつきもしない疑問にも出会えます。読んだ後は、いつもの風景が違ったものに見えるはず。大人が読んでも満足感のある 1 冊です。

(下京図書館司書)

理系研究者の「実験メシ」 科学の力で解決！食にまつわる疑問

17



松尾 佑一／著
光文社(光文社新書) 2021

ちょっと楽しい大人の自由研究

407

インスタントラーメンにお湯を入れ、さあ食べようとしたとたん電話が…。麺は伸びきってブヨブヨという経験はないでしょうか？麺はどれだけお湯をすうのか？美味しく食べられる理想的な時間は？炎天下に停めた車のダッシュボードで、お米は炊けるのか？など、著者が疑問に思った食に関するアレコレについて、実験を繰り返し科学の力で解決します。疑問に思った事を調べる好奇心、大人になっても持ち続けたいと思える 1 冊です。

(南図書館司書)

東大卒の教師が教えるこどもの科学の 疑問に答える本

15



三澤 信也／著
彩図社 2021

ズバッと解決科学の疑問

404

どうして雷が発生するの？消しゴムで字を消せるのはなぜ？どれも科学にまつわる疑問です。そんな疑問を解決してくれるのがこの 1 冊。雷は上昇気流の中の氷の粒が摩擦しあうことで静電気がたまり、それが雷を起こすと書かれています。実は私たちの身の回りは科学で満ち溢れています。好奇心をくすぐる疑問は、本の扉を開けることで新たな世界を教えてください。疑問を知識に変える、そんな科学の本を一度手に取ってみませんか。

(醍醐図書館司書)

北欧式眠くならない数学の本

18



クリスティン・ダール／著
スヴェン・ノードクヴィスト／絵
枇谷 玲子／訳
三省堂 2018

数学って楽しいかも…！

410

数学の本と言うと、とても難しそうに聞こえますが、この本は違います！イラストや身近な例が多用されていて読みやすく、理解がしやすいです。また、数学の定義や公式を使った遊びも紹介されているので、実際に遊びながら考えることができ、親子で楽しむことができます。著者は「わたしたちはみんな数学者です」と書いています。この本を読んで、あなたも不思議で楽しい数学の世界に触れてみませんか？

(久我のもり図書館司書)



目でみる数字

19

油は軽く、シロップは重い

410.4

日常に潜むほんの少しの不思議に気づかせてくれるこの本は、ページをめくる度に「へえ〜」という感嘆の声が出てしまいます。中でも一番衝撃だったのは、油、シロップなど様々な液体を計量カップに 100ml ずつ入れたものの重さを計っている写真。同じ 100ml でも重さが違い、学生時代に習った密度はこれだったのか！と数十年して納得がいきました。他にも数字にまつわる「へえ〜」をたくさん教えてくれる1冊です。

岡部 敬史／文
山出 高士／写真
東京書籍 2020

(西京図書館司書)



マンガと図鑑でおもしろい！わかる元素の本

22

元素がいっぱいコレクション！

431.11

公園や街中など身近な場所に、どれだけの元素があるか知っていますか？この本では、普段は気にもしない日常のあらゆるものが元素で出来ているということが、マンガやイラストでわかりやすく解説されています。後半の「元素図鑑」は特に面白く、元素の名前の由来や特徴がよくわかります。また、すべての漢字にルビがふってあるため、とても読みやすくなっています。

うえたに夫婦／著
佐巻 健男／監修
大和書房 2020

(久世ふれあいセンター図書館司書)



物理学者、SF映画にハマる 「時間」と「宇宙」を巡る考察

20

想像力が空想と現実をつなぐ

420.4

現役の物理学者が（時々脱線しながら）語る SF 映画のあれやこれやのホントのところ。タイムトラベルって実際できるの？ブラックホールに入って出てこれるの？量子力学や相対性理論という身構えてしまいがち。でも、SF を絡めればより身近に感じられるはず。えっ、フィクションにリアルを持ち込むのはナンセンスですって？まあそう言わずに、リアルを知ったからこそ見える、フィクションの新たな一面があるかもしれませんよ。

高水 裕一／著
光文社(光文社新書) 2021

(北図書館司書)



体感する宇宙

23

日常と宇宙が繋がる体感型入門書

440.4

「ビッグバン」や「ブラックホール」など、「宇宙」と聞いて思い浮かびはするけれど、よく知らない言葉たち。それらを日常で体感する方法や起こりうる出来事に絡めて紹介しています。簡単な方法ばかりなので、すぐに実践できて、宇宙を身近に感じられます。

各項目の説明が簡潔で読みやすく、宇宙初心者の方にオススメ。宇宙について知れて、日常がちょっと楽しくなる、そんな1冊です。

竹内 薫／著
KADOKAWA 2014

(左京図書館司書)



身のまわりのありとあらゆるものを 化学式で書いてみた

21

素朴な疑問、化学式にお任せあれ

430

元素記号を用いて物質の構造を表す「化学式」。理科の授業で習ったことがあるけど苦手だった、という人も多いのではないのでしょうか。この本は、水で直る寝グセの謎や汚れが落ちるセッケンの謎など、日常生活の中で誰もが一度は思ったことのある素朴な疑問を、題名のとおり化学式を使って解決します。

日常生活の「なぜ？」がこんなにもスッキリ解決するなんて！と化学式を見直すチャンスになること間違いなしの1冊です。

山口 悟／著
ベレ出版 2020

(岩倉図書館司書)



空がおしえてくれること

24

天気予報の見方が変わるかも

451.04

関西のニュース番組のお天気コーナーでおなじみの蓬莱さんが、身近な気象現象や天気予報についてわかりやすく解説したエッセイ。降水確率何%から傘を持つ？「一時間に〇〇ミリの雨」の目安って？など、普段何気なく疑問に感じている内容も盛りだくさん。毎日の天気を伝える気象予報士ならではの視点があちこちに見られ、楽しめます。

実際の空の様子や天気予報から得た情報を、どのように活かせば良いのかを考えるきっかけにも。

蓬莱 大介／著
幻冬舎 2019

(東山図書館司書)

ときめく鉱物図鑑

25



その輝きは、人々を魅了し続ける

459

地中で長い年月をかけて生まれる鉱物。構成する元素やその並び方の違いで私たちに個性豊かな姿を見せてくれます。

本書では、美しい写真とともにさまざまな鉱物が紹介されています。サファイア、水晶などの一度は聞いたことがあるものから、オーケン石のような不思議なものまで。実際に鉱物と出会える場所や保存方法、鉱物の楽しみ方も網羅。この本を通して、あなたも鉱物の魅力に触れてみませんか？

宮脇 律郎／監修
山と溪谷社／編
山と溪谷社 2021

(左京図書館司書)

生き物の進化ゲーム

28



進化生態学最前線:生物の不思議を解く [大改訂版]

ヒトはこれからどう進むのか？

468

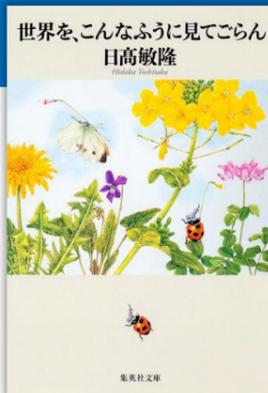
地球上には驚くほど多種多様な生物が存在している。カバのけんかは、口を開けて牙を見せ合うだけで決着がつくという。敗者はそれでいいのか疑問が残るが、このカバの行動が本書で語られる「進化的に安定な戦略」であるなら納得できてしまう。進化は、じゃんけんゲームの如く、相手が何を出すかによるものだという進化ゲーム理論。ワクワクする生き物たちの不可思議な行動について、進化理論に基づき合理的な理由を探る1冊である。

酒井 聡樹／著
高田 壮則／著
東樹 宏和／著
共立出版 2012

(中央図書館司書)

世界を、こんなふうに見てごらん

26



“真実なんてない”という考え方

460.4

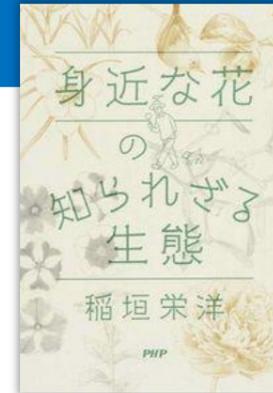
動物行動学者のエッセイと講演録。幼いころのチョウとの出会いのエピソードから、教授になってからの学生との大ディスコ大会まで、わかりやすい語り口で書かれています。中には、専門分野である科学との向き合い方など、多くの人生を生きるヒントが散りばめられています。日常で煮詰まった際に、読み返すと、発想を転換する助けになってくれることでしょう。

日高 敏隆／著
集英社 2013

(右京中央図書館司書)

身近な花の知られざる生態

29



美は科学に宿る

470

それぞれの花の花びらの数に秘められた二つの数列、野菜畑に植えられるマリーゴールドの効用、真冬に咲くツバキが赤い理由。花たちは、遺伝子を残すための繊細な科学をその身に宿している。科学は、彼らにとって生きるためのしくみでしかない。それが時には毒になり、薬になり、ヒトの心を動かす。花を見て「美しい」と感じるヒトの心もまた、科学によるしくみの一片なのかもしれない。

稲垣 栄洋／著
PHP エディターズ・グループ
2015

*現在は山と溪谷社から『花は自分を誰ともくらべない』として発行。

(南図書館司書)

生き物が大人になるまで 「成長」をめぐる生物学

27



生き物の成長から人間を見つめる

461.04

大人になるとは、どういうことでしょうか。「カマキリの赤ちゃんも遊ぶのだろうか」、「カワウソは教わらないと泳げない…らしい」、「根っこが伸びるのは、いつなのか？」など、生き物の成長には、魅力的な不思議が沢山つまっています。そんな不思議を取り上げ、面白く解説してくれる1冊です。

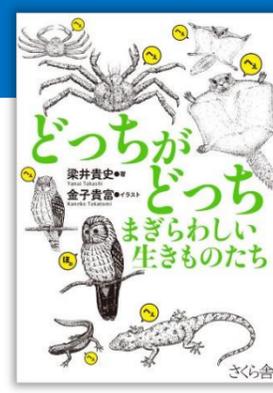
それぞれのやり方で大人になる生き物を知ることで、新たな視点から、わたしたち人間を見つめ直すのではないのでしょうか。

稲垣 栄洋／著
大和書房 2020

(岩倉図書館司書)

どっちがどっちまぎらわしい生きものたち

30



きみはナニモノ!?

480.4

似て非なる生きもの、例えば“ドジョウ”と“ナマズ”、あなたはどかがどう違うのか、説明できますか？また同じ“シャコ”という名前ですが違う生きものがあるなど、いろんな生物がイラストを交えて紹介されています。名前の由来なども書かれており、これを完読すれば、あなたも立派な生きもの博士になれるかもしれません！

梁井 貴史／著
金子 貴富／イラスト
さくら舎 2021

(久我のもり図書館司書)



新世界透明標本 [1]

31

目で楽しむ“科学技術”

480.73

キレイと見るか、グロテスクと感じるかは人それぞれ。

魚や爬虫類などの標本写真集です。

これらの標本は、もともと、解剖が難しい、繊細な骨を持つ生き物の骨格を研究するために編み出された手法で作成されました。骨に色を付け、筋肉を透明にすることで骨格を立体的に確認することができます。

カラフルで透明感があり、生き物を形成する骨格の美しさがより際立っていて、目に楽しい1冊です。

富田 伊織 / 作
小学館 2009

(東山図書館司書)



世界一ゆかいな脳科学講義

頭の中をぐるぐるめぐる 11日間

34

面白く読めてよく分かる脳科学

491.371

人間の精神は脳にある、前頭葉は人格のある程度まで決定する、怒りは扁桃体の反応から生じる、記憶に関わる海馬は訓練すれば大きくなるなど、不思議な脳のしくみを豊富な図解で分かりやすく楽しく学べます。本書は、脳を知るために必要な範囲が網羅されていて、もっと知りたくなったら専門書にも手を伸ばせる1冊です。難しく敬遠しがちな脳科学ですが、読み進めると脳の魅力に惹かれます。

アンジェリク・ファン・オルム / 文
ルイーゼ・ベルデユス / 絵
藤井 直敬 / 日本語版監修
塩崎 香織 / 訳
河出書房新社 2020

(伏見中央図書館司書)



カラスの教科書

32

空をみあげずにはいられなくなる

488.99

「カラスって真っ黒で不気味だし、ゴミも好き放題に散らかして本当に迷惑！」なんて思っておられる方、この本をぜひ読んでみてください。京都の町で、カラスを愛し研究していた作者が、カラスの生態についてたっぷり語ってくれます。動物行動学という堅苦しいようですが、一所懸命子育てする様子にハラハラしたり、カラスの悪戯の理由に納得したりするうちに、なんだか悪者だったカラスに肩入れしている自分を発見しますよ。

松原 始 / 著
雷鳥社 2013

(醍醐中央図書館司書)



一晩置いたカレーはなぜおいしいのか 食材と料理のサイエンス

35

おいしさのひみつを科学する

498.5

子どもから大人まで愛されるカレーライス。そんなカレーのおいしさには、ひみつがあるのです。そのヒントは、食材となっている植物や動物たちが生きるために身につけてきた力に隠されていました。

本書では、カレーの他にチャーハンやお寿司など身近な料理の謎に迫ります。食材の味や香り、食感がどのように生まれてきたのかを知れば、毎日の食事がもっと楽しくなるはず！さあ、おいしさの正体を探しに出かけましょう。

稲垣 栄洋 / 著
新潮社 2022

(醍醐図書館司書)



おしっこ、ヒル、頭にドリル

本当にあったトンデモナイちりょう

33

良い子はマネをしないでね

490.2

「生老病死」とはよく言ったもので、人には誰も逃れられない4つの「苦」があると言われています。人類は古今東西、この苦しみと悪戦苦闘してきました。本書は古代から現代までの驚愕の「トンデモ治療法」を紹介したものです。混迷のコロナ禍で、先人の幾多の試行錯誤は現在の医療にも少なからず影響を及ぼし、未知の世界への探求の歴史に感慨を覚えるのです。

クライブ・ギフォード / 作
アン・ウィルソン / 絵
鈴木 真奈美 / 訳
化学同人 2021

(吉祥院図書館司書)



世界一ためになる！美容成分図鑑

36

美肌への近道、ココに書いてます

576.7

化粧品の成分表示をきちんと見たことはありますか。カタカナだらけでよくわからない…なんてことはないでしょうか。どの化粧品も、多くの開発者による研究と実験を経て作られたものです。含まれている成分に、どのような働きがあるかを知っているだけで、自分に合った効果的な化粧品を選ぶきっかけにつながります。コミカルなイラストが添えられた解説と四コマ漫画により、理系分野に抵抗がある人でも楽しく読むことができます。

佐藤 薫 / 監修
菜々子 / マンガ
新星出版社 2019

(向島図書館司書)

日本の色・世界の色

写真でひもとく 487 色の名前

37



世界を色で見ると

757.3

この本には 487 の色とその名前、そして色の名前の由来になった空や海などの自然や生き物、染料や絵の具の原料でもある植物や鉱石などがきれいな写真と共に紹介されています。ジャンルとしては美術の本ですが、自然科学のような視点からも楽しめます。アプローチを変えて見ると世の中はなんて豊かな色彩で溢れているのだろうと感じられます。

永田 泰弘／監修
ナツメ社 2010

(洛西図書館司書)

蛾 姿はかわる

40



生物の進化の姿を美しく描く

E

イギリスに生息する蛾(オオシモフリエダシヤク)の進化のおはなしです。産業革命時、煤煙で樹皮が黒ずんだことで薄い色の羽を持つ蛾は天敵に捕食され、突然変異で生まれた黒い色の羽を持つ蛾が生き延び、その数を増やしていきました。さらに環境が変化すると、また薄い色の羽を持つ蛾が生まれてきました。

環境の変化に適応し、姿をかえる蛾。その進化のしくみをたどっていくと、「希望」という言葉にたどり着くのです。

イザベル・トーマス／文
ダニエル・イグヌス／絵
青山 南／訳
化学同人 2021

(洛西図書館司書)

サムライ・ポテト

38



近い将来、起こるかも？

913.6

SF 小説が 5 話収録された短編集です。表題作はファストフード店のコンパニオンロボットに自我が芽生えて…という物語。他 4 話では自分以外の時間が止まったり、自分が作ったロボットが勝手にテロに使われてしまったり。AI 化が進んでいる現代、SF がノンフィクションになる未来も遠くはないかもしれません。

自分の身に起こったとき、あなたならどうしますか？

片瀬 二郎／著
河出書房新社 2014

(右京中央図書館司書)

たったひとつのドングリが すべてのいのちをつなぐ

41



命を育むドングリ

E

たったひとつのドングリから一本の木が育ちます。その木に鳥が巣を作ります。また別の種が落ちて、花が咲き実がなります。温かみのある色彩で森で暮らす動物たちが描かれています。

木陰は誰が作ってくれていますか？きれいな空気は？水は？今、森が減ったことで異常気象となり水害も起こっています。

地球に暮らしている全ての生き物のために森を残していかなければなりません。何が出来るのか？みんなで考えてみましょう。

ローラ・M.シェーファー／ぶん
アダム・シェーファー／ぶん
フラン・プレストン＝ガノン／え
せな あいこ／やく
評論社 2018

(こどもみらい館子育て図書館司書)

代体

39



体が死んでも「私」は生きている

913.6

体から意識を取り出して移転させる技術が確立した近未来。治療中の体から意識を分離して、一時的に「代体」という人造人体に移すという医療ビジネスが普及しつつある世界が舞台の、SF 小説。便利すぎる「代体」の存在に未来の科学への夢が膨らみますが、そこには人間の欲や倫理に関わる複雑な問題もあり…。フィクションですが、いつか科学はこの領域に到達するのかもしれない…という説得力のある世界観に圧倒される 1 冊です。

山田 宗樹／著
KADOKAWA 2016

(向島図書館司書)

ねこってこんなふう？

42



七変化するのは猫？それとも？

E

みんな自分の目を見た世界がすべてだと信じてしまいがち。自分の感覚だけで物事を考えてしまいがち。

そんな私たちの「がちがち」をときほぐし、「見る」「感じる」について、優しく、楽しく、教えてくれる絵本です。

犬、金魚、ミツバチ…、次々に現れる小さな生き物たちのまなざしが、新たな「感じ方」の世界の扉を開いていきます。

さあ、猫と一緒に、新しい視点を手に入れる散歩に出かけよう！

ブレンダン・ウェンツェル／さく
石津 ちひろ／やく
講談社 2016

(こどもみらい館子育て図書館司書)